

学校管理下の柔道死亡事故 全事例

【事故発生年度：1983年度～2011年度(29年分)】

最終更新日 2012年5月10日

作成者 内田 良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授)
ウェブサイト「学校リスク研究所」 http://www.geocities.jp/rischool_blind/

以下の事例は、学校管理下における柔道の活動中に発生した「死亡」の事故事例です。次の点に留意してください。

- ①事例は、(独)日本スポーツ振興センターがほぼ毎年発行している『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』から抽出したものです。ただし最新の情報については、新聞等のメディアから拾い出しています。
- ②「事故発生年度」というのは、厳密にいうと、(独)日本スポーツ振興センターから「死亡見舞金」が支払われた年度です。したがって、死亡見舞金の支払いが年度をまたぐ場合(たとえば、事故発生は12月で、死亡が翌年の5月の場合)には、「事故発生年度」は、実際に事故が発生した年度と一致しないことになります。
- ③「学年」は事故発生時点の学年です。
- ④「死因」や「事故の概要」は、(独)日本スポーツ振興センターの報告をそのまま引用したものです。したがって、事故後の裁判等のなかで争われたこと、あるいは明らかにされたことは、内容が異なる場合があります。そうした点については、この資料最下部に、適宜情報を掲載するというかたちで対応させていただきます。
- ⑤いわゆる「事件」性の高い事例として解釈されている件についても、ここではすべて用語上「事故」としています。

■更新メモ■

<2012年5月10日>

2010年度について事例を新たに1件(j111)追加しました。『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』の最新版(平成23年版)が刊行され、それにより新たな事例が見つかったためです。

<2012年4月5日>

2011年度の事故で、現時点で確認できる3件の事例を追加しました。

<2011年6月2日>

2010年度の記事について、情報を補足しました。件数の変更はありません。

<2011年1月11日>

2010年度について、事例を新たに1件(j115)追加しました。

<2010年8月13日>

内田による死因の分類——柔道固有の動作に起因する死亡／運動全般に共通する死亡／その他——を作成しました。

2010年度に入ってからの記事で、現時点で確認できているものを掲載しました。

<2010年6月1日>

これまでに発表してきた事故情報において、1件の見落としがありました。1984年度発生の記事で、今回新たに追加することとしました(このファイルの「j014」です)。合わせて、2010年度5月初旬に発生した事故(このファイルの「j110」です)の情報も追加しました。

事例ID	『死亡・障害事例』年度 〔～年版〕	事故発生年度	学年	性	授業(保健体育) ／ 部活動	死因	事故の概要	柔道固有の動作 に起因する死亡		運動全般 に共通 する死因 (突然死、 熱中症等)	その他 (死因の 特定が 困難な 事例を 含む)
								投げ技・受身の 衝撃による 頭部外傷	その他の 死因 (窒息、 臓器の 損傷等)		
j001	1985 (昭和60)	1983 (昭和58)	高2	男	部活	急性心臓病	技をかけられ倒れたとき。			○ (心臓系)	
j002			高2	男	部活	腸間膜血栓症	柔道乱取中。			○	

j003			高1	男	部活	急性硬膜外血腫	〔後方受身の際頭部を打つ〕 柔道部の練習が開始され、準備運動、補強運動後、受身練習に入った。本生徒は、横受身後、後方座り受身を行い、しゃがんだ姿勢からの後方受身を行った際後に頭部を打ち、その後の休憩時に気持ちが悪くなって、武道館の外に出て休んでいたが、吐いてうずくまっているところを3年生に発見された。救急車の出動を要請、病院に移送後手術を受けるも2日後に死亡した。	○				
j004			中2	男	部活	心及び呼吸停止、脳挫傷	〔受身の際、後頭部を打つ〕 当日は、柔道部の練習が体育館横の校庭に畳を敷き行われた。本生徒は、練習中、大外刈りを掛けられあおむけに倒れて後頭部を打ち、事故後、自力で立ち上がろうとしたが、ふらついたため、体育館横の犬走りに寝かせ、水に濡らしたタオルを頭に当てて様子を見ていたが、部活動を巡視中の教頭の指示により校医に受診、更に、救急車で外科医へ運び、手術が行われたが、翌朝死亡した。	○				
j005			中1	男	部活	急性硬膜外血腫	〔練習中倒れる〕 中体連主催による柔道大会終了後、大会参加の学校の合同練習が行われた。2、3年生は打ち込み、乱取りが約40分間行われ、その後2・3年生が各校の1年生を相手に受身をとらせる約束練習を行った。本生徒は、順番に従い1人10回ずつを3人分ぐらい行った後、4人目の3年生に足がもつれるので待ってくれるよう頼み場外で休む。その後の整理運動には参加した。午後3時10分から自校の生徒のみで練習開始、小内刈りに対する受身をさせたが、うまくないので3人目のとき監督が外れているよう指示したところ、返事をして3m程歩いて床へ崩れるように倒れた。直ちに練習を中止し、容態を見て救急車を依頼し、入院。手術が行われたが、死亡した。	○				
j006	1986 (昭和61)	1984 (昭和59)	中2	男	授業	間質性心筋炎	柔道乱取り後。				○ (心臓系)	
j007			中2	男	部活	窒息死(推定)	寝技の練習中。		○			
j008			高1	男	授業	脳硬膜下出血	受身の練習中。	○				
j009			高1	男	授業	急性心不全	柔道の受身練習後。				○ (心臓系)	
j010			高2	男	部活	頭蓋底骨折	練習終了後の整理体操中。 司法解剖の結果、急性肺浮腫と診断 → 「突然死」として扱う	○				
j011			高1	男	授業	急性硬膜下血腫	〔受身の際後頭部を打つ〕 当日は、柔道の指導配当時間の16時間のうちの6時間目に当たっていた。準備体操、補助運動後、午後2時30分から約束練習(体落とし)を実施した。最初本生徒が相手を投げける練習をし、休憩後、本生徒が投げられる側となり、50回の約束練習を行い、練習中背中から落ちて頭を打った。少し痛そうな顔はしたが、そのまま練習は続けた。終了後、全員仰向けになって畳の上に寝ころんで休憩をとった。体力が回復した頃、背負い投げの約束練習をするため全員が立ち始めたが、本生徒は立ち上れないで、急に視点が定まらない目となり、手がけいれんし始めた。教師の指示により救急車の手配がされた。その直後嘔吐し始め、意識がなくなった。救急車にて病院に運ばれ、治療を受けたが、脳死、呼吸停止の状態のまま、意識は戻らず、5日後に死亡した。	○				
j012			中2	男	部活	急性硬膜下血腫、脳挫傷	〔受身の際頭部を打つ〕 当日は、午後4時50分頃から練習が開始され、準備運動、受身、打ち込みを行った後、乱取りの練習に入り、本生徒は3年生Aと練習中、背負い投げで投げられたときに頭部を打ったが、約10分間休憩し、再び3年生Bと練習に入り、体落としで投げられたとき受身の体勢が不十分のため頭から落ち、頭部をかなりの勢いで畳に打ちつけた。打ったときは痛かったが何ともないということで、整理運動、反省等を行い、午後6時20分頃練習を終了した。本生徒は、更衣後、水呑場で何かを吐いていたようであったが、友達に先に帰るようにと言ったので、友達はそのまま下校した。その後、本生徒は教室に行き、午後6時50分頃、吐き気、頭痛を訴えているところを生徒に発見され、病院に移送、医師の診察後、他の病院へ移送中意識を失った。開頭手術が行われたが、意識が戻らないまま3日後に死亡した。	○				
j013			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	〔受身の際後頭部を打つ〕 8月8日から行われた柔道部合宿の2日日早朝トレーニングのあと8時30分から10時まで寝技練習、午後1時から4時30分までは立技練習が行われた。立技の自由練習中、本生徒は3分間の2本目に左大外刈りで投げられた際に左後部を強打した。直ちに様子を見たところ、意識不明の状態なので、救急車で病院へ移送、医師の指示により、転医入院、手術が行われたが、消化管出血、肺炎、肝腎機能障害を併発し、死亡した。	○				

j014			中1	男	部活	急性腎不全(日射病による)	〔日射病〕 当日は、午後1時から2時まで体育館で、館内5周のランニング、ボールを使用しての1人5回～7回のジャンプ練習、10mダッシュを5回程行い、午後2時から運動場で指導者と200mトラック5周のランニング、100mリレーを行い、最後に軽く呼吸を整えるためグラウンドを歩いていた。本生徒は、先頭集団を歩いている間に倒れ、呼吸困難の状態となった。直ちに風通しの良い場所へ移動し、水で冷やし、校医が応急手当(酸素吸入)をして国立病院に移送し、入院治療が行われたが、翌早朝死亡した。				○ (日射病)	
j015	1987 (昭和62)	1985 (昭和60)	中1	男	部活	脳挫傷	〔大外刈りをかけられ頭部を打つ〕 ランニング、準備体操の後、柔道の練習に入り、3年生5人にそれぞれ3・4名がついてかかり稽古を行った。このとき本生徒は、大外刈りをかけられ倒れたが、相手は本人の胸元を離したので、充分受け身ができず、左側頭部を打った。本生徒は痛かったので涙を流しながら、それでも次々とかかり稽古の相手をしていましたが、しばらくして「もういや」と言って休んでいたが、急に順番待ちの部員に抱きつくように倒れた。救急車で病院に移送したが、既に脳死の状態であり、およそ3週間人工呼吸にて蘇生を図るも、ついに死亡した。	○				
j016			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	〔払い腰で投げられる〕 準備運動、補強運動、寝技の練習を約50分間行い、打ち込み、約束稽古を20分間行った。(なお、本生徒は入学後に柔道を始めたが、入部後は順調に基礎的な技術向上を遂げ、毎日の練習にも充分順応していると見受けられた。)午後4時40分ごろから乱取り練習を開始。この練習は、相手を限定せずに一本を3分以内で行い、相互に相手を代えながら行うもので、本生徒は相手を二人代え、ついで2年生(初段)と組み合い、お互い技をかけ1～2分過ぎたとき、払い腰で投げられ二人が重なるように倒れた。このとき本生徒は頭部を強く打ったようである。すぐに立ち上がり、再び相手を代え練習を続けようとしたが、突然その場に崩れるように倒れた。直ちに救急車の出動を要請して病院に運ばれて血腫除去の手術を受けたが昏睡状態が続き、容態が急変して死亡した。	○				
j017	1988 (昭和63)	1986 (昭和61)	高1	男	部活	低酸素性脳症	柔道部活動時、道場で打ち込み練習200本、約束練習60本、乱取りを10本(各4分)、元立ちの1分練習10本、4分試合練習3本を約2時間ほど行って一息つき、道場の壁に背中をもたれていたところ、数分後、突然倒れた。救急病院へ運んだが、7日後死亡した。				○	
j018			高2	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、道場で約束練習を10本行った直後、頭をかかえて倒れ、意識を失った。救急病院へ移送し治療するが死亡した。なお原因は、約束練習で頭部を打ったためと推定される。	○				
j019			高1	男	部活	脳腫脹	柔道部活動時、道場で乱取りげいこの際、大内刈で投げられ、後頭部を畳で打った。病院へ移送、治療を受けていたが、12日後、死亡した。	○				
j020			中1	男	部活	急性脳腫脹	柔道部活動時、道場で新入部員同志で交互に投げる練習をしていたとき、受身に失敗して、数回頭部を打った。救急病院へ移送され治療を受けるが、翌日死亡した。	○				
j021	1989 (平成1)	1987 (昭和62)	高1	男	部活	熱射病	柔道部活動夏季合宿の2日目、朝食後準備運動を開始し寝技、打ち込み(背負い型)100本を実施した。本生徒は、40～50本行った頃から数を間違えたり、声小さくなったりしたが100本を終了した。しかし、その頃からしゃがみ込んだり言動がおかしいので、異常を感じ救急車を手配し救命処置を行ったが翌朝病状が悪化し死亡した。				○ (熱射病)	
j022			中2	男	部活	右硬膜下血腫	柔道部活動時、練習中「乱取り」の後、相互に背負い投げをした時、本生徒は、受け身をして起き上がろうとしたが動けなくなった。頭を水タオルで冷やし、病院へ移送し手当を加えたが死亡した。	○				
j023			中3	男	その他 (体育大会)	脳挫傷、左急性硬膜下血腫	体育大会の柔道大会に出場し試合中、大外刈りで本生徒は下になり場外へ倒れた。その時、肩から畳に落ちたが、板の間と畳の境目の木柵に後頭部を打ちつけた。外傷はなかったが試合が出来ないと訴えたので休ませた。突然、けいれんを起こしたので、容態が悪いと判断して病院へ移送したが昏睡状態が続き死亡した。	○				
j024			高2	男	部活	頭蓋内出血、脳挫傷	柔道部活動時、申しあわせの投げ込みの練習中、相手に投げられた時、右側頭部より畳に落ちた。その後、練習を続けたが、しばらくして頭を両手でおさえ、ゆっくり前に倒れるようにしゃがみこみ意識不明となった。直ちに救急車を手配、病院に移送し手当を受けたが死亡した。	○				
j025	1990 (平成2)	1988 (昭和63)	中1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、約束練習で、大外刈りで投げられ背中から落ちた。あいさつしようとして立ち上がったが、うずくまるように倒れ、意識不明。ひきつけ、いびきをかく状態であった。救急車で近医へ移送し応急手当のあと、病院に移送、手術を受けるが翌日死亡。	○				
j026			中2	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、背負い投げの練習で投げられたとき、本生徒は腰を引きがちで体を十分に預けない状態になり、取り(投げる側)の引き手と本生徒の受身が十分でなかったために、頭部を畳で強打した。救急車で病院へ移送し、手術したが1週間後死亡。	○				

j027			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、乱取りをしていて大内刈りを掛けられ、あおむけに倒れ後頭部を畳に打ちつけた。通常の投げられ方であり受け身がとれる程度のものであったが、本生徒はすぐ立ち上がり数歩歩いて前方に倒れこんだ。病院へ移送したが、脳死に近い状態が続き7日後に死亡。	○		
j028			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、試合形式で練習中、本生徒は大外刈りを掛けられ尻から落ちてからおおむけに倒れ頭を打ったが、再び組み合い場外へ、そして、開始線に戻り再開しようとしたとき、うめき声をあげ四つんばいに崩れ落ち、直後いびきをかき始め意識不明となる。救急車で病院へ移送したが翌日死亡。	○		
j029			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、準備運動、打ち込み、乱取りのあと、約束練習のさい、受け身をとったが後頭部を打った。道場中央より数歩歩き量の外へ出たが、うずくまってしまったので静かに寝かせた。しかし意識が戻らず、救急車で病院へ移送、約11時間後に死亡。	○		
j030	1991 (平成3)	1989 (平成1)	高1	男	授業	脳挫傷	体育の柔道の補充授業中、試合形式で打ち込みを中心とした「崩し」の練習をした。指導教師は本生徒を相手にして実技指導を行い、自護本体の構えをとらせ、体を起こしながら回そうとしたが回りきらず、本生徒の体が指導教師の体に直線的にぶつかってきた。教師は、右脇下に本生徒の頭があったので支えることができず、ほぼ真後ろに倒れた。本生徒は教師をつかんだままだったので支えることができず、頭を打ちつけた。直ちに救急車を手配し、病院へ移送したが3日後死亡した。	○		
j031			高2	男	部活	脳挫傷による心及び呼吸停止	柔道部の練習中、乱取り練習で相手に内股を掛けたさい、外されて返し技で投げられ、畳面を頭を打ったと思われる。同様のことが3回あった。ミーティングに入り、途中で気分不良を訴えたので、休ませていたところ、間もなくおう吐して意識不明となり、救急車で外科医の診断を受け、病院へ移送され手術を受けたが、意識が戻らぬまま1週間後死亡した。	○		
j032			高2	男	部活	頭蓋内出血	高体連支部柔道大会団体戦に、本生徒は先鋒として出場、大外刈りを掛けられ後頭部を畳で強打した。その後自席に戻り正座して観戦していたが、片手を畳について前のめりに倒れ意識を失ったので救急車で病院へ移送、応急処置後転医、治療を受けたが3日後死亡した。	○		
j033			高2	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部の活動中、背負い投げの約束練習を行って取りの生徒が体勢を崩し、受けであった本生徒は低い体勢から畳に投げ出された格好となり、頭から落ち頭部を強打した。起き上がって続けようとしたので教師が止め休ませたが、しばらくして意識がなくなってきたので近くの専門医の診察を受け、その後、救急車で病院へ移送したが3日後に死亡した。	○		
j034			高1	男	部活	熱中症による急性心不全	柔道部の活動中、準備運動後、1周約400mのトラックを全員で5周、各自のペースで走った。その後ダッシュ練習に入り15m×8本、50m×6本、100m×4本、200m×2本、400m×1本を行った後、追い抜きダッシュを行い、1周目の終わり辺りで本生徒は足もとがふらつき、うずくまるように倒れ気を失った。倒れた後、目を覚ませようと顔面に水を掛け、意識が戻った後格技場へ移し涼しいところに寝かせ、氷で額を冷やすなどの手当てをして回復を待ったが、倒れてから8時間後容体が急変、救急車で病院へ移送されたが死亡した。	○		○ (熱中症)
j035			高1	男	授業	急性心不全	体育の柔道の授業を終え、着替え終わって4階の教室に戻り、自分の席に座っていて、椅子から床に倒れ落ちた。すぐに人工呼吸等の処置を行い、救急車で病院へ移送したが死亡した。〔既往症〕心尖部肥大型の特発性心筋症(死亡の4か月前に心電図異常により心臓超音波検査等を実施して診断)			○ (心臓系)
j036			高1	男	部活	急性肺炎の疑い	柔道部の合宿中、本生徒は40℃の発熱があり、すぐに病院で受診、入院を希望したが、その必要なしとされ帰校し、その夜は合宿室で休ませた。翌朝も体調が思わしくなく、11時ごろ容態が急変し再度病院で受診、入院した。一時は快方へ向かうかと思われたが、四肢のチアノーゼや呼吸困難等は入院時と変わらず、徐々に悪化、発熱より2日後の朝肺炎を併発、昼ごろ容態が急変し死亡した。			○
j037	1992 (平成4)	1990 (平成2)	中1	男	部活	右急性硬膜下血腫	柔道部活動時、乱取り練習をしているとき、すでに退部の意思が固まっていた本生徒に対し、日頃より練習態度に熱意が欠ける様子を見てとっていた上級生を含む6人が、いつもよりやや厳しい掛け合いを実施。2人がかりで、大外刈りを掛けたところ、転倒し頭部を強打し意識不明となったため、職員室の顧問に連絡。救急車で病院へ移送し、手術を受けたが死亡した。	○		
j038			中2	男	部活	脳挫傷	柔道部活動時、乱取りをしていて「体落し」を掛けられた。そのとき、相手の体も崩れて巻き込まれたような状態になり左側頭部を畳で打った。直ちに、顧問教諭が本生徒を安静にし声を掛けたところ「気持ちが悪い」と答え頭痛を訴えたため、救急車で病院へ移送し、手術を受けたが8日後死亡した。	○		
j039			高1	男	部活	急性硬膜下血腫、出血性ショック	柔道部活動時、乱取りを行っていて、本生徒は横掛けで投げられ、右側頭部を強打し、額にタオルを当て休んでいたが(1-2分)、顧問に「頭を打ったので休ませて欲しい」と申し出たので、他の生徒と接触しないように道場の端へ寄せようとしたとき、足から崩れ落ちた。救急車で病院へ移送し、徐々に意識状態が改善されたが、8日後死亡した。	○		
j040			高1	男	部活	急性硬膜下血腫、頭部打撲	柔道部活動時、乱取りを行っていて、体落しで投げられ後頭部を畳で打った。5分ほど休み、水を飲みトイレに行き入口で倒れた。頭を冷やしながら救急車を待ち、病院へ移送したが10日後死亡した。	○		

j041			高1	男	部活	脳挫傷	柔道部活動時、乱取りをしていて、内股が決まらず、本生徒の頭部を脇で挟み込んだまま同体で倒れ込んだ。その後立ち上がって、1本日の対戦が終わる。本生徒は、気分不良と吐き気を訴え、他の部員が付き添ってトイレに行き、吐く背中をさすったり水で冷やしているうちに意識を失い、病院で治療を受けたが、2日後死亡した。	○			
j042			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、同学年の相手に「大外刈り」を掛けられ、頭から畳に落ち頭部を強打した。すぐに起き上がって、畳の外に出て座って氷で頭部を冷やしていたが急にその場に崩れるように倒れ込んだ。応急処置をして救急車で病院へ移動したが死亡した。	○			
j043			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時ウエイトトレーニングを顧問教諭の指導のもと行い、大外刈りの練習を6回行った直後、気分不快、頭痛、吐きを訴え、まもなく意識不明となり、救急車で医療センターへ移送したが2日後死亡した。	○			
j044	1993 (平成5)	1991 (平成3)	中2	男	部活	脳挫傷	柔道部の練習試合のため、他校へ行き練習していたところ、途中で気分不良を訴えたので、控え場所で休ませた。何回か顧問が様子を見に行ったが、頭痛と気分不良を訴えていた。しばらくすると眠っていたので30分ほどそのまま寝かせておいたところ、刺激に対し反応がないので救急車で病院へ移送したが、翌日死亡した。	○			
j045			高1	男	部活	急性硬膜下血腫、くも膜下血腫	柔道部の練習で3キロメートルのランニング、準備体操のあと、移動のひきつけ50本と移動の打ち込み200本を行った。本生徒は190本になったところで、頭を抱え込むようになってかがみこんだ。声をかけたところ「大丈夫」と答えた。顧問が呼んだ所ふらふらしながらも歩いてきたが、歩いてきたが、座るとかがみこむように仰向けに倒れた。意識がないので救急車で病院へ移送したが11日目に死亡した。	○			
j046			高1	男	部活	脳挫傷	柔道部の合同練習会を実施した。準備体操や基本動作練習のアップを行い、立ち技のみを主体とする乱取りをしていた際、相手から低い背負い投げを受け頭を打った。その時は「大丈夫です」という返事があったため、道場の隅で休ませていたところ、意識を失ったので救急車で病院へ移送し手術を受けたが翌朝死亡した。	○			
j047			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部の合宿4日目、激しい立ち技合稽古が行われた。本生徒は他の部員より小柄の方であり投げられる方が多かった。この練習後、頭痛と寒気を訴えたが、その後は異常を訴えることなく過ごした。翌日は、早朝練習に参加し朝食も普通にとり午前中の練習にも参加したが次第に元気がなくなり、屋に頭痛を訴え頭痛薬を飲み休憩していた。午後の練習も参加したが、気分がすぐれずほとんど見学した。午後4時ごろ鼻出血をおこし倒れ、意識を失い救急車で病院へ移送し、開頭手術を受けたが経過が悪く8日目に死亡した。	○			
j048	1994 (平成6)	1992 (平成4)	高2	男	部活	急性循環不全	柔道部の午前中の練習を終えて、本生徒は水のみ場で水を飲み、洗顔した後、格技場に戻ろうとしたとき、体がふらつき、足がつってきたためうずくまった。安静にして寝かせたが、けいれんを起こし、意識が朦朧として来たので、救急車で病院へ移送したが死亡した。			○	
j049			中1	男	部活	硬膜下出血	柔道部活動時、柔道場で基礎練習を行い、前回り受身を行っている途中、本生徒は、友人に側頭部の痛みを訴えたが、教師には申し出ず、更にけいれん様の練習前にも首が痛い友人に訴えたが申し出なかった。練習終了後、頭痛を申し出たので、事情を聞いたが原因は明らかにならず、道場そばの事務室に同行したところ容態が急変した。父親が自家用車で医師に移送、手術のため転医、手術を受けたが9日後に死亡した。	○			
j050			中1	男	部活	硬膜下出血	柔道部活動時、学校外の道場で準備運動、打ち込み、投げ込み、乱取りの後、足技、寝技等の練習を行った。終了時間となり整理体操を行おうとしたところ、本生徒が崩れるように倒れた。救急車で町立病院へ移送、更に県立病院へ転院して手術を受けたが、10日後に死亡した。	○			
j051			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	屋内運動場で柔道部活動時、本生徒は乱取りを行っていて、一本背負いを掛けられ受身を取った際、側頭部を強打した。いったんは立ち上がり、歩いて畳の積み上げてあるところへ行き、しゃがみ込んだまま意識不明になった。救急車で病院へ移送したが2日後に死亡した。	○			
j052			高1	男	部活	呼吸不全	武道場で柔道部活動時、本生徒は乱取りを行っていて、大外刈りをかけられ、仰向けに倒れた際、後頭部を打った。直ぐに練習から外し、様子を見たが、気分不良を訴えて横になり、意識不明となったので救急車で病院へ移送したが54日後に死亡した。	○			
j053			高2	男	部活	急性硬膜下血腫	夏休みの柔道部活動時、本生徒は柔道場で準備運動等で体をほぐした後、基本の打ち込みを計120本、約30分間行い、乱取りを5本行ったところで、気分不良を訴え、便所でおう吐したが再び練習に参加した。休憩時間に入ったとき、座り込んだまま前方に倒れ意識を失った。担架で隣接の大学病院に運び、手術を受けたが、11日後死亡した。	○			
j054	1995 (平成7)	1993 (平成5)	高3	男	部活	脳浮腫(初診時病名:脱水症、熱中症、ショック)	柔道部活動で高等学校合同練習に参加中、本生徒は、予定の練習を終わった直後の午後4時過ぎ、気分の悪さを訴えて倒れたので、風通しのよい場所に移動し、水分を補給し様子を見ていたが、けいれんを起こしたため、救急車で病院へ移送、治療を受けたが7時間後に死亡した。			○ (熱中症)	

j055			高1	男	部活	脳死、その原因:頭蓋内損傷、その原因:頭部への外力	柔道部の練習中、本生徒は、乱取りをしていて小外刈りを決められ、後頭部を強打した。技を掛けた部員は倒れこむこともなく、本生徒に加重は全くかからなかった。直後は「大丈夫」と答えていたが、間もなく意識が薄れ始めた。応急処置を行い救急車で病院へ搬送、治療を受けたが11日後死亡した。〔解剖所見〕1. 左硬膜下血腫、外傷性くも膜下出血、著明な脳腫脹、ヘルニア形成、脳死状態 2. 左右気管支肺炎、扁桃腺腫大、3. 後頭部の陳旧な表皮剥脱。	○				
j056			高2	男	部活	急性硬膜下血腫、その原因:頭部打撲	柔道部の練習中、本生徒は、顧問教師と対戦していて、小内刈りを掛けられ、右足を取られてのけ反るよう後ろに倒れ、頭部・肩を畳に打ちつけ、意識を失った。応急処置を行い救急車で病院へ移送、治療を受けたが、約1か月後に死亡した。〔解剖所見〕脳は腫脹し泥状化を呈す、頭骨は開頭のため一部欠損、両肺炎像	○				
j057			高2	男	部活	汎血管内凝固症候群、その原因:後腹膜腔出血、その原因:乳び胸	本生徒は、屋内運動場で柔道部の練習中、乱取り練習をしていて、左組手から仕掛けられた体落しを防ごうとして半ば相手の腰に抱きつきながら左肩から落下し、左鎖骨を骨折した。応急処置後接骨院に移送、その後治癒と診断されたが、体調がすぐれず、内科で受診したところ、特発性乳び胸と診断、更に外科に転科し外傷性乳び胸と診断され、入院・手術・治療を受けたが快方に向わず、骨折から約10か月後に死亡した。		○			
j058	1996 (平成8)	1994 (平成6)	中1	男	部活	急性硬膜下血腫、脳挫傷による脳幹麻痺	柔道部活動中、格技館で受け身練習後の打ち込み練習のとき、本生徒は、3年部員と組み、背負い投げを受けた際、右肩から畳に落ちた。数秒間じっとしていた後、中腰になったが「具合が悪い」と言って仰向けに倒れた。目は半開きで、いびきをかいていたので、救急車で病院へ運び治療を受けたが4日後に死亡した。	○				
j059			中1	男	部活	肺不全(大動脈解離)	柔道部活動中、本生徒は、武道場で立ち技練習中に大内刈りで投げられ、受け身をしたとき腹部に痛みを訴えた。直ちに病院へ移送、治療を受けたが3日後に死亡した。		○			
j060			中1	男	部活	脳挫傷	柔道部活動で、部員13名は柔剣道場で練習を行った。当日は顧問教師が不在となるため、部長に練習メニューを指示した。準備体操、基本練習の後、約束練習として打ち込みと投げ込みを混ぜて、畳の上に敷いたマット上で行った。このとき本生徒は、受け身を取り損ねて背中から落ち、息を詰まらせて練習を2回中断した。その後しばらく1人で受け身練習をした後、部員と組んで練習を続けたが、「気分が悪く、吐き気がする」と練習を中断し、ペランダへ行く途中で倒れた。意識不明の状態では救急車で病院へ運び治療されたが、翌日死亡した。	○				
j061			高2	男	部活	頭部外傷による脳浮腫、急性硬膜下血腫	他校で行われた柔道部夏季合同合宿中、本生徒は乱取り練習で相手に体落として投げられ、畳に右前頭部を強打し、仰向けに横転した。すぐ立ち上がり、顧問教師に頭を打ったことを報告後、体が崩れ落ち仰向けに倒れた。いびきをかき、けいれんが起きたので、救急車で病院へ運び治療を受けたが4日後に死亡した。	○				
j062			高3	男	授業	不明	体育授業中、道場で柔道の寝技乱取り中、本生徒は、相手に押さえ込まれ、10秒ほどはね返そうと手足を動かしていたが、15秒ぐらいからいびきをかくようになった。相手はふざけているものと思い30秒までそのまま押さえていた。30秒過ぎても起き上がらず、意識ももうろうとしているので、教師が蘇生を試みながら病院へ移送した。					○
j063			高1	男	部活	高カリウム血症	夏季休業中に行われた3校合同の柔道部合宿中、県営武道館で、午前、午後と引き続いて練習が行われた。午後3時半過ぎから行われた立ち技練習中、本生徒が体の不調を訴えたので休憩させた。顧問教師が介抱中、次第に意識が薄れてきたので、救急車で大学病院救急センターへ移送し、手当を受けたが約3時間後に死亡した。				○	
j064			高2	男	部活	横紋筋融解症、急性腎不全	柔道部合宿(8月8日から12日まで)時、本生徒は、3日目、早朝のマラソンで道路を歩行中、足が痛くなり休んでいるところを顧問教師の車に收容され、合宿所に戻った。手足のしびれを訴えたため病院へ移送、入院治療を受けたが翌日死亡した。				○	
j065	1997 (平成9)	1995 (平成7)	中1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、顧問教師指導の下練習を行い、乱取り中、本生徒は払い腰を掛けられ下になった状態でともに倒れた。その後立ち上がったがふらふらと畳に倒れ意識を失った。顧問教師がこれに気づき救急車で病院に搬送され、4時間に及ぶ手術を受け成功したが、3日後に容態が急変し脳死状態となり受傷後5日後に死亡した。	○				
j066			高1	男	部活	急性脳腫脹、硬膜下血腫	柔道部活動時、顧問教師と乱取り中、顧問教師が内股を掛けた際、巻き込む形となり、顧問教師が本生徒の上に乗る形となった。本生徒は、すぐに立ち上がろうとしたが、足に力が入らず崩れるように倒れ意識不明となった。救急車で病院に搬送したが13日後に死亡した。	○				

j067	1998 (平成10)	1996 (平成8)	中1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動中、1人が6人を投げる約束練習をしていた時、3年生部員が本生徒を相手にして大内刈りをして、一度後ろへ下がった後、前へ引き出して崩れている状態を確認して背負い投げをかけた。本生徒は体勢を立て直そうとしたが頭部から投げ込み用のマット上に落ち、一度は立って列の後ろへ戻りかけたが、崩れるように倒れた。連絡を受けた養護教諭が現場に直行し、けいれん、意識の状況を見て即座に救急車を手配し病院へ搬送後治療したが、翌日の夕方に死亡した。	○				
j068			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、準備運動をし、打ち込み等の練習後2年生との元立ち練習を行った。本生徒は相手に内股技を2回と大内刈りを1回かけられたが、受身でかわしていた。はじめて1分過ぎたころ急に頭を抱えて座り込んだので担当教諭の指示で柔道場のすみへ行き正座をしたが、前に倒れ意識がはっきりとしない状態になったので救急車を手配し病院へ搬送し、手術を受けたが意識は戻らず6日後に死亡した。	○				
j069			高3	男	授業	肺動脈血栓	体育授業での柔道の乱取り中、相手の体落としに対し投げられないよう踏ん張ったが右足首をねじるように倒れたとき、2人が重なるように倒れたので重量がかかり右足首を骨折した。入院し手術を受け、右足首は順調に回復したが、発生から11日後に胸の苦しみを訴え病院で治療したが、その3日後に再度胸の苦しみを訴え救急車を呼んだが到着前に死亡した。					○
j070			高2	男	授業	急性心不全	体育授業の柔道時、準備運動、受身など十分身体を温めた後グループ別の乱取りげい古に入った。本生徒の順番になり組み合ったまま場外に出そうになり、審判が「待て」の合図をかけたので2人が中央に戻ろうとしたとき、突如後ろ向きに倒れた。直ちに救急車で病院へ搬送したが、発生より約40分後に死亡した。				○ (心臓系)	
j071			高3	男	部活	不詳	柔道部活動時、乱取り練習中、本生徒は疲れている様子で立っている状態が多かった。特に本人からの訴えはなかったが体調は優れないようであった。2時間半ほどで練習が終わり、通常はバス等で帰宅するが、疲れがたまっていたのか父親を呼び自家用車で帰宅した。帰宅途中、あまりに調子が悪そうなので病院で受診したが、たいしたことがないというので帰宅した。翌日も容態が好転しないので同じ病院で診察を受けたが、入院の必要もないというので家で静養していたが、容態が急変し、その日の昼頃に死亡した。					○
j072			中2	男	部活	熱射病による多臓器不全	柔道部活動で他校と3日間の夏期合宿を行っていたとき、最終日の朝練習で準備体操後、野外走やダッシュ等をほかの部員よりも軽めの距離や時間で行った。整理体操後、朝食と休憩になり本生徒はお茶を飲み朝食は取らずに休憩していた。しばらくして体調が急変し拳動不審になったので、教諭が畳の上に寝かせたところ、けいれんを起こして昏睡状態になった。救急車を要請し、病院へ搬送し治療を行ったが翌日死亡した。				○ (熱射病)	
j073	1999 (平成11)	1997 (平成9)	高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、本生徒は学校外武道館で県地区予選に参加し、軽量級の試合に出場していた際、相手に背負い投げをされ右前額部を畳に強打し、そのまま前方に仰向けに倒れた。起き上がろうとしたが、主審がそのまま安静にするように指示し、数分の間は意識もあり正常の状態であったが、しだいに意識が混濁し、生あくび、手足の硬直、失禁といった状況が見られるようになり救急車で病院へ移送し血腫除去の手術を受けたが、30分後に心臓が停止し死亡した。	○				
j074			高1	男	部活	脳ヘルニア	柔道部活動時、柔道場で約束練習中、本生徒は3人目の相手に右足を刈られて受身を取って倒れた。立ち上がろうとしたとき、ふらついて板壁に当たり座り込んだ。道場の端に寝かしたが、練習に参加しようとして上体を動かしたので静止させたところ、けいれんし白眼になっていたのですぐに養護教諭を呼び、昏睡状態であったため、救急車で病院へ搬送し治療を行ったが脳死状態のまま、18日後に死亡した。	○				
j075			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、武道館で準備運動の後の乱取り中、2本日を終えたところで本生徒は気分不良、頭痛を訴え見学していたが、転倒し意識を失った。養護教諭が駆けつけたが、脈、呼吸はあるが意識がなく泡を吹いた状態であったので、直ちに救急車で病院へ移送された。急性硬膜下出血が認められ、脳死状態になり3時間後に死亡した。	○				
j076			高1	男	部活	脳挫傷	柔道部活動時、昇段審査を受ける予定であったが、会場へ行くまで時間があつたので、本生徒はいつものように非常階段を昇り降りしての準備運動を行っていたが、昨日からの雨で階段や手すりが濡れており何らかの弾みで転落したと思われる。その後他の部員が非常階段下の通路で倒れている本生徒を発見し、救急車で病院へ搬送されたが1時間後に死亡した。					○
j077			高1	女	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、柔道場で投げ込みの練習中、相手に大外刈りで投げられた際に受身を取ったが頭部を畳で強打した。一度は立ち上がったものの再び倒れ込んで意識不明となり、救急車で救急救命センターに搬送され一時容態に明るさが見えたものの、意識不明のまま11日後に死亡した。	○				
j078			高1	男	授業	窒息	体育授業の柔道時、本生徒は、準備運動受身及び打込等基本動作の後で2分間試合を行った。その後授業途中にトイレへ行っただと思われるが、トイレ前の廊下に仰向けになって倒れていたのを発見された。すでに顔面蒼白で意識のない状態だったので救急車で病院へ搬送されたが3時間後に死亡した。					○

j079			高3	男	授業	急性心不全	体育授業の柔道時、準備運動を行ってから、受身の練習を行った。その後乱取りを行い、本生徒も参加したが終了後、襟が乱れていたため担当教諭が直していると腕にもたれてきたので、貧血と思い帯を緩めて寝かせた。授業終了のあいさつをして生徒に近づいてみると、呼吸が停止していたので心肺蘇生法を実施し、救急車で病院へ搬送したが回復しないまま2時間後に死亡した。			○ (心臓系)	
j080	2000 (平成12)	1998 (平成10)	高2	男	授業	心室細動	体育授業時、武道場で柔道を行っていた。準備運動を行い、受身の練習後、試合形式の練習に入るため注意事項を説明し、本生徒に模擬試合をさせた。教諭が試合中、説明しようと試合を止めた際、突然しゃがみ込み左後方に倒れ込んだ。直ちに心臓マッサージ、気道確保しながら心肺蘇生を行った。救急車で病院に搬送したが、2時間後に死亡した。			○ (心臓系)	
j081			中2	男	部活	熱中症による多臓器不全	柔道部活動時、他校武道場で合同練習をしていた。準備運動をして、寝技、投げ込みの練習後、乱取りの練習を始めた際、本生徒が疲れた様子なので、教諭が休憩するよう指示した。意識がもうろうとし始め、右手に硬直が見られたため、救急車を要請し病院に搬送し治療を受けたが、翌日死亡した。			○ (熱中症)	
j082			中2	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、格技室で打ち込みの練習をしていた。本生徒は背負い投げの打ち込み練習を行い、続いて相手が大外刈りの打ち込みを行った。2回目に投げられた際、後頭部を畳に強打した。投げられた後、ゆっくり立ち上がったが、すぐ畳に倒れた。養護教諭が軌道を確認の処置をし、救急車で病院へ搬送し処置を受けたが、4日後に死亡した。	○			
j083			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動時、筋力トレーニングを行い、その後、打ち込み練習、乱取り練習を行った。終了の礼をした直後に倒れ、顧問が抱き上げ呼吸、脈拍を確認したが、意識がなかった。直ちに救急車で病院に搬送し、緊急手術を行い治療を続けたが、1ヵ月後に死亡した。	○			
j084			高1	女	部活	窒息	柔道部活動時、柔道場で寝技のインターバル練習中、生徒同士で「送り襟締め」を行い、落ちたが蘇生し回復した。続いて監督が相手になり「崩れけさ固め」で押さえながら左腕を喉の上に寄せ、寝技を解く練習をしていたが、本生徒の力が急に抜けたため頬をたたきながら、目覚めさせようと蘇生を始めた。しかし、蘇生しなかったため、救急車で病院に搬送し治療を受けたが、2時間後に死亡した。		○		
j085	2001 (平成13)	1999 または 2000 (平成11 または12)	中1	男	部活	心臓性突然死	柔道部の練習に参加し、準備体操・受身・打ち込み・乱取り・引き出し・整理体操を行い、練習終了後、柔道場の清掃を終え、本生徒は友人とふざけ合いながら技のかけ合いをしていた。本生徒は相手に対し、後ろ向きになった時、背中を押され、うつ伏せに倒れたところに、その上に腹ばいになった格好で相手が覆いかぶさるように乗った。その時、他の生徒が本生徒の顔色が青くなっていることに気づき、すぐに降りるよう言い、本生徒に声をかけるが、反応がなかった。連絡を受けた教師が人工呼吸、心臓マッサージを行うが、搬送された病院で死亡した。			○ (心臓系)	
j086			中2	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部の活動中、本生徒が投げ技をかけられ、受身を取ったが勢い余って1回転半し転倒した。すぐに立ち上がったが、顧問が異常に気づき救急車を要請した。その後、搬送された病院で治療を受けるが死亡した。	○			
j087			高3	女	部活	蘇生後脳症	柔道部の練習に参加中、午前中の練習を終え、昼休み後、他校の生徒及び社会人と合同で寝技の乱取り練習に入った本生徒は、8人目の対戦の際、くずれ上四方固め15秒敗戦、挨拶のため、正座しようとして崩れ、意識を失った。人工呼吸、心臓マッサージを行うとともに、病院に搬送され、治療を受けるが、意識不明のまま死亡した。		○		
j088	2002 (平成14)	2001 (平成12)	高1	男	部活	熱中症	隣接校3校による柔道の合同練習中、通常の経路を自転車で行く下校中、気分が悪くなり歩道上で倒れていた。脱水症状をおこし死亡した。			○ (熱中症)	
j089	2004 (平成16)	2002 (平成14)	中1	男	部活	急性硬膜下血腫	当日、13時から柔道部の練習を開始した。準備運動を行った後、組み手練習を計4回ほど行った。その後、14時からおんぶ歩き(道場内5周)、乱取り(2分間×5分)、投げ込み(2本×12セット)を行い、本生徒は休憩の後、再度14時50分頃から乱取りを開始した。本生徒は1回目と3回目に乱取りを行ったが、3回目の途中で対戦相手が足払いをかけた直後、腰砕けとなり、横向きに倒れた。脱水症状だと思った指導者が近づくと、歯を食いしばって舌を巻いている状態で、意識を失っていた。すぐに気道確保を行い、救急車にて医療機関に搬送し、CTスキャン、開頭血腫除去手術を受けたが、発生から約22時間後に死亡した。	○			
j090			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	当日、柔道部の練習を柔道場で行い、乱取りを1時間行った後、5分間休憩し給水をとってから、攻撃練習(2人を前に立たせ、たの生徒がかかってくる)を開始した。10分くらい経過した時、かかってくるために窓際に立っていた本生徒が、突然倒れ意識をなくした。直ちに風通しの良い入口側に移動し、舌根沈下防止のためタオルを口に挿入し、両脇に氷をあてて救急車の到着を待った。救急車にて医療機関に搬送し、検査の結果、急性硬膜下血腫と診断され、緊急手術が行われたが、その後も意識不明の状態が続き、発生から約4ヶ月後に死亡した。	○			
j091			中2	男	部活	脳内出血	柔道部の練習に参加していた本生徒は、準備体操(20分)を行い、寝技・固め技(2分間×2回)、寝技の乱取り(2分間×4回)の練習をした。リーグ戦方式により、各試合間に2分間の休憩を取りながら4試合を行った。休憩の後、紅白戦を行い、1番で試合に出るが、「始め」の合図で組んだとき、反則負けとなり、試合を見学していた。見学中に手足のしびれを訴え、立ち上がろうとするが立てずに、その場に倒れた。痙攣し、意識もはっきりしない状態であった。救急車を要請し、病院へ搬送した。集中治療室にて治療を行っていたが、3日後に死亡した。	○			

j092			高1	男	部活	心原性ショック	本生徒は、校内での柔道部の合宿に参加していた。合宿3日目の特に変わった様子もなく、午後5時頃に練習を終了し、夕食、入浴を済ませ、午後9時40分頃就寝したが、翌午前0時50分頃、隣に寝ていた生徒が、腹ばい状態で苦しそうないびきをかいている本生徒に気付き、顧問教諭に報告した。救急車を要請し、医療機関に搬送されたが、心臓マッサージ等の効果も無く死亡した。			○ (心臓系)	
j093			中2	男	部活	急性硬膜下血腫	当日、9時から他中学校との合同練習を開始した。10時21分からかかり稽古(3分×6本)が始まり、本生徒は他中学校の生徒との練習中、大外刈りで投げ出された際に対戦相手も倒れ込み、背中と頭部、腹部を打った。再度練習を開始したが、10時24分頃、再び同生徒に大外刈りで投げられ、背中と頭部を打ち、意識不明となった。指導教諭が冷たいタオルで頭部を冷やし、動かさないようにして様子を見たが、意識がはっきりしないため、救急車を要請し、保護者へ連絡した。救急車到着後、医療機関に搬送し、人工呼吸器をつけICUに移って治療を受けたが、翌日脳死状態となり、災害発生後から3日後に死亡した。	○			
j094	2004 (平成16)	2003 (平成15)	中1	女	部活	急性硬膜下血腫	柔道部の部活動練習中、本生徒は受身を取りそこね、後頭部を畳に打ち付けて意識を失った。指導に当たっていた柔道部顧問が職員室に連絡し、養護教諭が現場に駆けつけたが、養護教諭は直ちに救急車を要請するよう職員室に連絡した。養護教諭が救急車に付き添って病院に搬送され、検査の後、緊急に手術を行い、その後、入院加療が続けられたが、発生から約1ヶ月後に死亡した。	○			
j095			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	柔道部活動にて体操、ストレッチ、受身練習をし、その後2人組になって打ち込み50本等を行った。さらに他生徒との乱取り練習で右背負い投げをかけられた直後、一旦は立ち上がったものの、前かがみにうつ伏せで倒れた。救急車で病院に搬送後、急性硬膜下血腫と診断され、深昏睡、自発呼吸なし、瞳孔拡散、脳幹反応なしの状態のため脳死状態となり、8日後に死亡した。	○			
j096			高1	男	部活	不詳	当日、午前9時から柔道部の練習を開始した。準備運動、補強運動に続いて、10時10分から乱取り稽古を始めた。乱取りの始めは立ち技の練習で、その後は立ち技から寝技までの練習であった。約30分後に監督が乱取りに加わり、本生徒と組んだ。監督が6本目の乱取り稽古で本生徒を投げ、寝技に入った直後に本生徒の力が抜け、意識を失った。監督は寝技で落ちたものかと思いき、心臓マッサージを行ったが、意識が回復しないので、剣道部の監督に応援を頼み、携帯電話で救急車を要請する一方、他の生徒2名に職員室に連絡に向かわせた救急車が到着し、酸素吸入、心臓マッサージなどの心肺蘇生を行ったが、意識は回復せず、その後医療機関に搬送されたが、約1時間40分後に死亡した。				○※
j097			中3	男	部活	心室細動	当日、柔道部の練習を開始し、本生徒は、全体練習の前の自主練習で、ストレッチ体操を10分間、腕立て伏せ30回、腹筋20回、背筋20回を1セット行った。その後、高さ6mほどの天井から吊るしている筋力アップ用ロープの上まで登り、畳床1.5m辺りから飛び降りたあと、4、5歩歩いて畳に横になった。全体練習の時間になり、他の柔道部員が声をかけたが応答がなかった。部員が本生徒を保健室に運んだが、意識、呼吸もなく腕も確認できなかったため、救急車を要請し、人工呼吸、心臓マッサージを行った。その後、到着した救急車により医療機関に搬送され、集中治療室で手当を受けたが、発生の翌日に死亡した。			○ (心臓系)	
j098	2005 (平成17)	2004 (平成16)	高2	女	授業	心臓系 突然死	体育の時間に、前半およそ30分、格技場を走り(5~7周)、ストレッチ(15秒×15セット)、回転運動、寝技の攻防(30秒×2)をした後、試合(本生徒は60kg以上のBグループ)を行った。本生徒は、他の生徒から掛けられた大外刈りを返し、相手に乗りかかるように倒れ、一本を取った。そのまま試合を終えて礼をした後、突然倒れ意識を失った。			○ (心臓系)	
j099			高1	男	部活	熱中症	午前10時より柔道の部活動を行っており、準備体操、寝技、ミーティング、乱取稽古をした後、12時50分ごろから打込稽古を2人一組で行った。12時55分ごろ監督が技の指導を行った際、他の方向を見て返答するなど様子がおかしかったため練習を中断し、水分を補給させ休ませた直後、痙攣が始まり心肺停止状態となった。			○ (熱中症)	
j100	2006 (平成18)	2005 (平成17)	中1	男	部活	心臓系 突然死	柔道部合宿中、2日目、朝から練習を行い、「しんどい」という発言を何度かしていたが、午後5時ごろには、「インフルエンザのような気がする」と訴え、夕食後シャワーを浴び着替えた後、しばらくしてから意識を失う。救急車で病院へ搬送されたが、翌日死亡する。			○ (心臓系)	
j101			中1	男	部活	頭部外傷	柔道の部活動中、相手選手のかけた技(大外刈り)で投げられた際、畳で後頭部を打った。その後、相手に礼をし、監督の話聞いた後、自席に戻ったとき、崩れるように上向きに倒れた。	○			
j102			中3	男	部活	頭部外傷	柔道部活動中、サーキットトレーニングや準備運動を行った後、打ち込み、乱取り、投げ込み等を2時間近く実施した。水飲み場で休憩を取っていた際、体調が悪くなり、休んでいたところ、急にいびきをかき始め意識不明に陥った。	○			
j103			高2	男	授業	心臓系 突然死	柔道の授業中、相手生徒に足技で腰から倒され、横四方固めで押さえ込まれた際、数秒間抜け出そうとしたが、そのまま動かなくなった。救急車を要請し、医療機関に搬送されたが、約1時間40分後に死亡した。			○ (心臓系)	

j104			高1	男	部活	頭部外傷	柔道の部活動に参加し、当日は蒸し暑く、普段より若干軽めの練習を行った。練習の様子については、特に変わったところはなく、むしろ普段より頑張っていると顧問も、数名の生徒たちも感じていた。また、練習中は、顧問や生徒同士の会話でも、頭部を打撲したことや、異変は認知できなかった。練習後は、最後に部室を出た主将に「しばらく寝て帰る」と言って別れた。保護者から連絡を受けた担任が学校を捜索したところ、部室で亡くなっている本生徒が発見された。検視の結果は頭部打撲による右硬膜下出血であった。	○			
j105	2007 (平成19)	2006 (平成18)	高1	男	部活	頭部外傷	柔道の練習中、乱取りをしていたところ、頭部を畳に打ちつけた。休憩時間時に「頭が痛い」と顧問に訴えたため、頭部を打ったことを顧問が確認し、氷嚢で冷やしながら水を飲むように指示する。ペットボトルの水を飲もうとしたが、飲めずに脱力、同情に横になった。直ちに救急車を要請し、搬送された病院で治療を受けたが、10日後に死亡した。	○			
j106	2009 (平成21)	2008 (平成20)	高2	男	部活	熱中症	強化合宿に2日間の予定で参加していた。2日目、約50分間程度行われていた早朝トレーニングでジョギング等をした後に宿泊棟の階段付近で倒れているところを発見された。病院に搬送し処置を行うものの、人工透析のできる病院へ搬送。集中治療室で治療を続けたが、症状が回復することなく、後日死亡した。			○ (熱中症)	
j107	2010 (平成22)	2009 (平成21)	中1	男	部活	頭部外傷	柔道の部活動で、ランニング、準備運動、受け身の練習、寝技の習得、打ち込み等の練習の後、秒乱取り稽古に入る。練習終了間際に他生徒が本生徒に払い腰をかけた際に頭を打った。直ちに救急車で病院に搬送された。入院し小康状態を保っていたものの、後日息を引き取った。 [補足情報:『朝日新聞』青森県版2009年5月28日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 当日、午前9時から柔道部の練習を開始した。ランニングや柔軟体操、受身のけいこなどを1時間ほどしたあと、寝技、押さえ込みなどの指導と実戦練習に続き、午前11時ごろから、乱取りなどを開始。正午ごろの練習終了間際に上級生が本生徒に「払い腰」という投げ技をかけて倒したところ、起き上がらなかった。部員やコーチが見たが、意識がなく、午前0時25分に救急車で病院に運ばれた。CT検査や手当てを受けたが、意識は戻らなかった。 (2009年5月発生)	○			
j108			中1	男	部活	頭部外傷	部活動で、乱取りの練習中、本生徒が大外刈りをかけ、顧問に返し技をかけられた後、意識不明となり容体が急変する。病院に運ばれ、手術を受け治療を受けたが、後日死亡した。	○			
						急性硬膜下血腫	[補足情報:『朝日新聞』滋賀県版2009年8月7日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 当日、午後1時から柔道部の練習を開始した。寝技などの練習のあと、2人1組で互いに技をかけあう乱取りをはじめた。1年生が上級生と組み、1本2分で実施。その後、本生徒は男性講師と組み、練習。午後4時20分ごろ、本生徒は2～3回投げられた後、仰向けに倒れたまま動かなくなり、病院に搬送。意識不明の状態が続いたが、27日後に死亡した。 (2009年7月発生)				
j109			高2	男	部活	頭部外傷	夏期合宿中、柔道場で午前中から投げ込み用の畳を利用して、後ろ受身の練習をした。練習経験のある生徒からアドバイスを受け、一人で10分程度行い、休憩時は他の生徒の練習を見学するというインターバル方式を採用した。本生徒は受身の練習中で何度か頭を打っているようで、痛かったら氷水を入れたビニールの中着で頭を冷やそうにしていた。練習終了後に、口を押さえてトイレ方向に駆け込み入口で吐いて倒れた。意識はなく、直ちに救急車で病院に搬送され緊急手術を受けたが翌日死亡した。	○			
						急性硬膜下血腫	[補足情報:『朝日新聞』2009年7月27日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 本生徒は当日、午前10時からほかの部員3人と校内の柔道場で練習していた。途中、トイレで嘔吐していたため、校内の別の場所にいた顧問教諭が駆けつけたが、すでに意識はなく、病院に搬送されたが翌日未明に死亡。本生徒は直前まで1人で受身の練習をしていた。他の部員は立ち技の練習をしていた。 (2009年7月発生)				
j110			高1	男	部活	頭部外傷	合宿2日目の午後練習で準備体操後、乱取り練習を行い10分間の休憩後、20秒追い込み練習を行った。本生徒は5本目に突然奇声をあげ、相手に寄りかかる形で倒れたため、仰向けに安静にさせた。呼吸・脈拍は確認できたが、既に意識不明の状態であった。気道確保、脇下アイシングを行い意識・呼吸・脈拍・刺激反応などを確認し、直ちに救急車を要請し、病院に搬送した。緊急手術を行なったが、翌日死亡した。	○			
						急性硬膜下血腫	[補足情報:『JANJANBlog』2010年6月30日付(事故発生2009年度)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 柔道合宿(7日間の日程)の2日目に、朝8時30分からトレーニング、9時45分から12時45分まで稽古。15時から午後の稽古開始、準備体操→寝技→受け身の練習のあと、15時20分から寝技の乱取りをおこなった。17時45分、水分補給などの休憩をとり、17時55分から「追い込み練習」開始(40秒1セットで、20秒間一方が攻め一方が守る、その後、攻守交代)した。5セット目に入ったところで、本生徒がよりかかるような形で倒れたため、119番に通報した。病院に搬送されたものの、翌日の17時35分、急性硬膜下血腫で死亡。 (2009年8月発生)				

j111	2011 (平成23)	2010 (平成22)	中3	男	授業	突大血管系	本校武道場にて体育の授業で準備運動をして、ストレッチを行っている最中、身体を後ろに反らせた時、そのまま崩れるように後ろに倒れた。直ちにそばにいた体育教諭が様子を確認し、救急車を要請した。同時に養護教諭らが駆け付けAEDを使い心肺蘇生法を施した。大学病院へ搬送したが死亡した。				○ (心臓系)	
j112			高3	男	部活	頭部外傷 急性硬膜下血腫	柔道部で顧問教師指導の下、他高校で行われた合同合宿に参加し、初日午後の練習で乱取り稽古を行っていた。お互い右組で技の攻撃をする中、相手の右大外刈りで右足を刈られ、後方へ投げられた時、後頭部を畳で強打した。投げられた後、すぐに上体を起こし、立ち上がろうとしたが、横になるようにして倒れ、起き上がらなかった。直ちに救急車を要請し、応急手当を行った。救急搬送中、病院からのドクターカーと合流し、3人の医師が乗り込み容態を確認し病院へ搬送。緊急手術を行ったが、同日死亡した。 [[読売新聞]西部版2010年5月3日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 柔道部の合同合宿時の練習で、ほかの生徒と乱取りをしていた際、大外刈りをかけられ、後頭部を打った。一度立ち上がったが、頭が痛いと言って座り込むように倒れ、約9時間後に搬送先の病院で死亡した。合宿は2泊3日の予定で、県内の複数の高校から生徒50名近くが参加していた。 (2010年5月発生)	○				
j113			中1	男	部活	頭部外傷 脳挫傷	柔道部の活動中、準備運動の後の基本練習で投げと受け身の練習をしていた。自分の順番を待っている時、急に頭を痛がり、前向きに倒れた。救急車で搬送後、手術が行われ、意識の戻らないまま、後日死亡した。 [[朝日新聞]2010年7月7日付(朝刊)と7月10日付(朝刊、静岡版)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 午前7時30分頃から体育館の武道場で、練習を始めた。午前8時30分頃、1年生が1人を投げ役として、受身の練習をしていたところ、本生徒は何度か投げられた後、順番を待っていたさいに、意識を失って倒れた。なお本生徒は、その約50日前に、地域の柔道団体で練習をしたときに頭を強打し、軽い急性硬膜下血腫と診断され、一週間の入院をしていた。 (2010年6月発生)	○				
j114			高1	男	部活	熱中症 熱中症	柔道部練習中、午後最後のトレーニング中、熱中症で倒れた。救急搬送後、病院で処置を受けるが、数日後死亡した。 [全柔連「障害補償・見舞金制度」における事故報告(小林恵子, 2011, 「統発する柔道事故における社会的責任及び法的責任」『季刊教育法』No. 168, pp. 19-25)より引用] 高校の柔道部の練習中、午後の乱取り終了後のトレーニング中、手押し車の時倒れ、病院に搬送。2日後に死亡。 (2010年7月発生)				○ (熱中症)	
j115			中3	男	部活	頭部外傷 急性硬膜下血腫	柔道場で柔道部の部活動に参加していた。投げ込み練習後、8分間水分補給のため休憩をとった。本生徒は柔道場の隅で休憩していたが、他の生徒が次の練習メニューの乱取りを開始してもまだ休憩していた。部員が横になっている本生徒に気づき、声をかけたが反応が無いため指導中の顧問に伝えた。(投げ込み練習の後半に、本生徒が頭に手を当てて痛いとおぼやいているのを、2名の生徒が目撃している)。救命センターに搬送され、緊急手術を受けたが、数日後に死亡した。 [全柔連「障害補償・見舞金制度」における事故報告(小林恵子, 2011, 「統発する柔道事故における社会的責任及び法的責任」『季刊教育法』No. 168, pp. 19-25)より引用] 中学校の柔道部の練習中、投げ込みの受け後、休憩。後、意識不明になり、病院で緊急手術。12日後に死亡。 (2010年7月発生)	○				

以下、2011年度の情報は、新聞等のメディアから拾い出したものです

j116	2011年6月		高1	男	部活	急性硬膜下血腫	[[読売新聞]2012年1月28日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 部員どうして練習中、大外刈りで畳に後頭部を強打した。その後、意識を失い、救急車で病院に運ばれて緊急手術を受けたが約40日後に死亡した。	○			
j117	2011年7月		高1	男	部活	熱中症	[[朝日新聞]2011年8月5日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 武道場で反復横跳びなどをくり返す練習中に突然ふらつき、意識を失った。救急車で病院に運ばれたが、意識が戻らないまま、2日後に死亡した。				○ (熱中症)

j118	2011年8月	高1	男	部活	頭部外傷	[[msn産経ニュース]](http://sankei.jp.msn.com)2011年8月5日付の記事内容]大外刈りにより頭部を打撲し、死亡した。詳細は不明。	○			
合計 118件							計76件 (64.4%)	計5件 (4.2%)	計31件 (26.3%)	計6件 (5.1%)
							計81件 (68.6%)			

※個々の事例における留意事項※						
j096	2004 (平成16)	2003 (平成15)	高1	男	部活	死因が「不詳」とされているが、遺族が依頼した鑑定人が提出した鑑定書によると「死因は病死である急性心不全というより頸部(けいぶ)圧迫による窒息死とすべきであろう」とされている。
j102	2006 (平成18)	2005 (平成17)	中3	男	部活	平成22(2010)年版に、「供花料」の死亡事例として再掲されているものと同一であると考えられる。損害賠償を受けたこと等の理由により、死亡見舞金の給付の対象からはずれて「供花料」に変更され、平成22年版に再掲されたと想像される。